



土壌分析をしましょう！

—コスト低減に向けて—

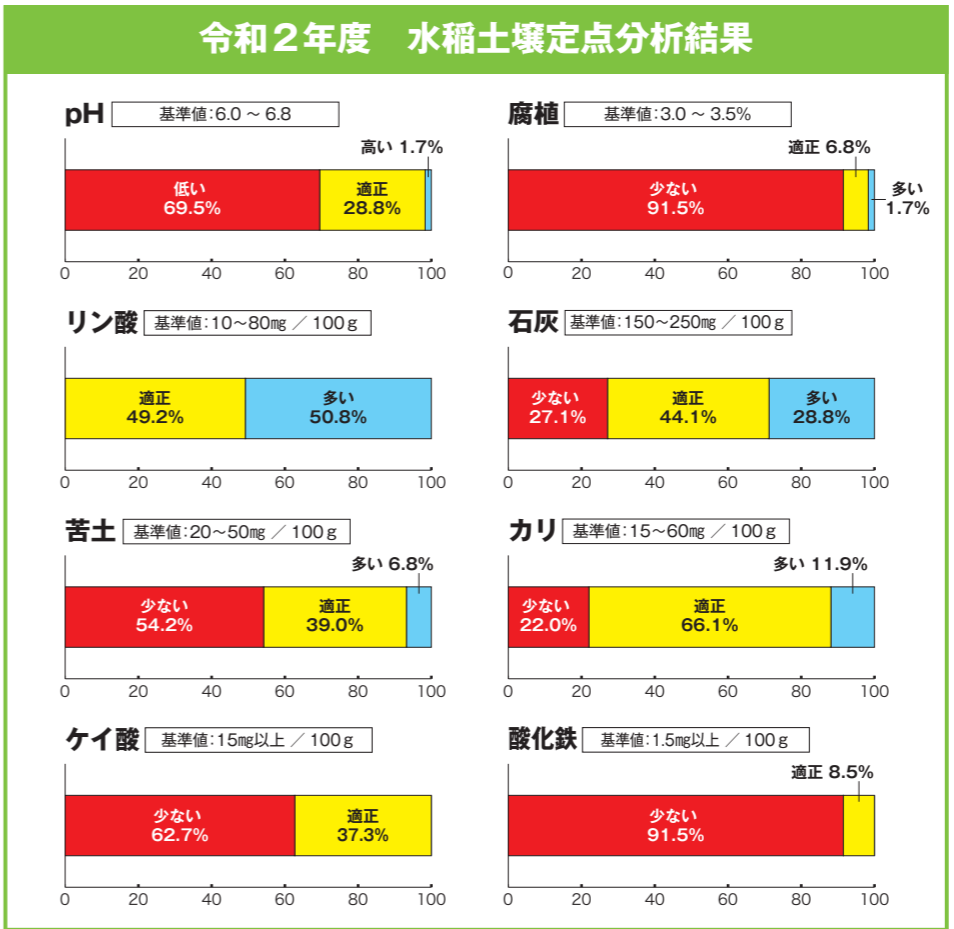
J Aでは、肥料の過剰施肥による無駄をなくしコスト低減に繋げるため、土壌分析を毎月実施しています。分析を希望される方は、約1合程度(200g)を採り、必ず土壌を乾燥させてから袋に入れ、住所氏名・TELと、水稲・野菜(キャベツ、ハクサイ、等・果樹(ミカン、カキ、等)など品目名を記入して、1月15日(金)までに各支店へご持参ください。分析結果は2月下旬頃にご連絡致します。

市場出荷休日カレンダー (野菜・果樹)

1月						
日	月	火	水	木	金	土
					2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

Xは出荷できない日 〇は日曜・祝日等



水稲



※防除薬剤のあとの数字は、安全使用基準で、(収穫何日前まで使用可能)か/通算使用可能回数)を表しています。農業は農業安全使用基準を守り、正しく適期に防除してください。
例)表記が(14日/2回)の場合:収穫14日前までに2回使用可能

《水稲土壌定点分析結果》

J Aでは、適正な肥培管理と良質米生産に向けて、管内60カ所の水田の土壌分析を毎年実施しています。全地区で、腐植、ケイ酸、酸化鉄の値が低い傾向です。腐植においては、生ワラの全量還元により改善しましょう。なお、「石灰窒素(20~30kg/10a)」を耕起時に施用することで、腐敗を早めることができます。ケイ酸および鉄は、土壌改良資材の施用で補給できます。J Aでは低コスト土壌改良資材として「農力アップ(100kg/10a)」の施用を推奨しています。ケイ

キャベツ



厳寒期に入り、ズルケ(軟腐病・腐敗病)の発生が増加するので、防除を徹底してください。

●病害虫防除(本田防除)

▽1月上旬 ※春のかほりSP③
・ファンタジスタ(顆) 2000倍(3日/3回)

▽1月下旬 ※春のかほりSP①・めぐみ・アクセル(フ) 1000倍(前日/3回)

・シグナムWDG 1500倍(7日/2回)

ブロッコリー



●病害虫防除

◎組織内べと病

茎の内部が黒茶色になる症状で、風雨などで、葉の気孔や傷口から侵入し発病

します。べと病の病原菌は糸状菌(カビ)です。葉裏のべと病菌の胞子は、花蕾に雨や露があると、そこに菌がついて花蕾や茎の組織内に侵入します。

発生は、春と秋の気温が低いとき(7~13℃)に、降雨が続くと多くなります。昼夜の気温差が大きいときに結露を生じると広がります。また、密植により通気性が悪いと、多湿条件になり広がります。対策としては、予防的に薬剤を散布します。葉が6~7枚程度のときに1回目、花蕾ができる前に2回目の防除をして、徹底防除をしましょう。

・ランマン(フ) 2000倍(3日/3回)
・シグナムWDG 1500倍(7日/2回)
発生が見られたら被害株や発病葉などは取り除いて圃場外に持ち出ししましょう。

新シヨウガ



促成栽培では種イモの植え付け時期を迎え、今後6カ月間の肥培管理が始まります。

●定植

ハウス栽培では高温のため、根茎腐敗病が最も恐ろしい病気の1つであり、種イモからの一次伝染を防ぐことが大切です。無病の種イモ選定には気を使いますが、シヨウガ栽培の基本です。十分心掛けて、慎重に選定してください。腐り、変色したものは病原菌を保菌している可能性があります。未熟で肥大

の不十分な種イモは発芽能力が半減するので、充実したものを使用してください。

小割作業はできる限り暖かい場所で行って、貯蔵庫から取り出した種イモは、できる限りその日に植え付けるように心掛けてください。シヨウガは地温が15℃以上になると発芽し、生育が始まります。植え付け時期は最低地温15℃以上を確保できるようにビニールマルチ等を利用し、地温が下がらないように工夫してください。

地中暖房で保温する場合は、生育初期に温度を上げすぎないように注意してください。植え付け後すぐの除草剤処理は、必要に応じてトレファノサイド(粒)2.5(6kg/10a)などを散布してください。

※注意
①定植面積に応じた収穫時期を生産者で判断して、収穫までに180日を超えないように定植してください。
②誰が見ても分かるようにハウスのつま面(戸)の所に**油性の黒マジック等で定植日を記入してください**(定植後すぐに記入)。
③圃場別作型表を提出してください。

シシトウ



半促成栽培のシシトウでは、11月上旬に播種したシシトウが大きく生育し、定植作業が始まります。

●灌水

定植の2~3日前よりあらかじめ十分に土壌を湿らせておいてください。定植後すぐの灌水は地温を低下させ、土壌が乾燥しすぎていると、定植後灌水しても十分に鉢底まで湿らすことができず、根傷みを起こしやすいので注意してください。

●定植

加温施設がある場合は、定植前に夜間暖房を開始し、施設のない場合は定植の4~5日前にポリマルチなどを張って、地温の上昇を図ってください。

●病害虫防除(定植作業時)

◎アブラムシ類
・アドマイヤー1(粒) 1~2g/株(定植時/1回)

無加温の苗は鉢上げが終わり、本格的な育苗期です。水分補給や温度管理に十分注意し、健全な苗を育てましょう。元肥については、特に遅くまで収穫を続けたいハウスで肥料が残っていますので、必ず塩類濃度を調べ、適正な施肥を行ってください。

●病害虫防除

◎斑点病
葉に直径2~3mmの白色小斑点を生

じ、灰色の輪紋を描きながら病斑が拡大します。多湿条件のハウス栽培で発生が多いので、換気を充分に行ってください。

▽予防
・ダコニール1000 1000倍(前日/3回)

●病害虫防除

◎カイガラムシ・ダニ類

強い寒波が来る頃(1月中旬)までに、暖かい日を選んで、ハーベストオイル(60倍)で防除しましょう。この剤は、油膜で窒息死させる剤ですので、葉裏はもろんのこと、幹からしたたり流れるほど丁寧に散布しましょう。ただし、ミカンの収穫終了後7~10日後の樹勢が回復してから散布してください。

●黒点病

間伐、整枝、剪定を徹底し、園内や樹冠内部への採光、通風を良くしましょう。伝染源となる枯れ枝、剪定枝は園内

令和3年産 水稲・果樹栽培集落別説明会 開催日程一覧

令和3年産水稲・果樹栽培集落別説明会を下記の日程で開催いたしますので、ぜひご参加ください。

西ブロック			
支店	対象地区	開催場所	日時
かせい	木ノ本西・古屋・榎原・加太	かせい支店	1月20日(水) 13:30
	木ノ本東	浄福寺集会場	1月20日(水) 19:00
かほく	野崎湊	西部営農センター	1月13日(水) 13:30
きのかわ	楠見・楠見南部	きのかわ支店	1月15日(金) 13:30
	貴志	貴志連絡所	1月19日(火) 13:30
	梅原	梅原自治会館	1月22日(金) 13:30
西ブロック	西ブロック	西部営農センター	1月16日(土) 13:30
北ブロック			
支店	対象地区	開催場所	日時
六十谷	有功地区	六十谷支店	1月13日(水) 13:30
	直川地区	六十谷支店	1月14日(木) 13:30
	直川(畑地区)	井畑様宅	1月14日(木) 13:30
紀伊	府中	北部営農センター	1月 7日(木) 13:30
	西田井	西田井自治会館	1月 7日(木) 13:30
	北	北自治会館	1月 7日(木) 15:30
	北野・西上野	北野自治会館	1月 8日(金) 13:30
	上野北	上野北自治会館	1月 8日(金) 13:30
	上野南	上野自治会館	1月 8日(金) 18:30
	中洲・小豆島	小豆島自治会館	1月 8日(金) 18:30
	黒岩・八幡・今滝	黒岩自治会館	1月12日(火) 10:00
	弘西西・橋谷・田屋	北部営農センター	1月12日(火) 13:30
	弘西東	弘西会館	1月12日(火) 15:30
	神波	神波自治会館	1月13日(水) 18:30
楠本	楠本自治会館	1月13日(水) 18:30	
南永穂	南永穂自治会館	1月14日(木) 18:30	
北永穂	北永穂自治会館	1月14日(木) 18:30	
西永穂	西永穂自治会館	1月14日(木) 18:30	
川辺	川辺自治会館	1月14日(木) 18:30	
かなべ	島宇田・藤谷・北別所・平岡下・里谷1,2	かわなべ支店	1月15日(金) 13:30
	谷1	谷1自治会館	1月15日(金) 13:30
	山口西下	山口会館	1月15日(金) 13:30
	平岡上	平岡上自治会館	1月15日(金) 18:30
	湯屋谷	湯屋谷自治会館	1月15日(金) 18:30
	藤田	藤田自治会館	1月15日(金) 18:30
	山口西	山口西自治会館	1月18日(月) 13:30
	滝畑	滝畑自治会館	1月18日(月) 17:30
	上黒谷	上黒谷自治会館	1月18日(月) 18:30
	中筋	中筋自治会館	1月18日(月) 18:30
	日延	日延自治会館	1月18日(月) 18:30
北ブロック	北ブロック全域	北部営農センター	1月17日(日) 13:30
中央ブロック			
支店	対象地区	開催場所	日時
松島	松島	松島集会場	1月19日(火) 13:30
	四ヶ郷中之島全域	四ヶ郷中之島支店	1月20日(水) 13:30
新田	新田	薬師寺	1月21日(木) 13:30
ひがし	大田・黒田・北出島・前庭・出島・湯島	中央営農センター	1月14日(木) 18:00
	鳴神南	鳴神南会館	1月15日(金) 18:00
	有家	有家地区集会所	1月15日(金) 18:00
	津秦	津秦自治会館	1月15日(金) 19:00

中央ブロック			
支店	対象地区	開催場所	日時
ひがし	栗栖出島	出島地区会館	1月18日(月) 18:00
	岩橋出島	岩橋出島自治会館	1月18日(月) 18:00
	八軒家	八軒家自治会館	1月18日(月) 18:00
	宇田・北東・西垣内・小路・高柳	中央営農センター	1月19日(火) 18:00
	西栗栖	西栗栖自治会館	1月19日(火) 18:00
	馬場栗栖	馬場栗栖自治会館	1月19日(火) 18:00
	鳴神	鳴神会館	1月19日(火) 19:00
	高積全域	高積支店	1月 8日(金) 18:30
	上三毛	上三毛自治会館	1月 8日(金) 18:30
	和佐中	和佐中自治会館	1月 8日(金) 18:30
高積	東田中	東田中自治会館	1月 8日(金) 18:30
	上新出	上新出自治会館	1月12日(火) 18:30
	吐前	吐前自治会館	1月12日(火) 18:30
	千旦	千旦自治会館	1月12日(火) 18:30
	禰宜	禰宜自治会館	1月12日(火) 18:30
	和佐関戸	和佐関戸南自治会館	1月13日(水) 18:30
	下和佐	下和佐自治会館	1月13日(水) 18:30
	井ノ口	井ノ口自治会館	1月13日(水) 18:30
	高積全域	高積支店	1月14日(木) 15:00
	下三毛	下三毛自治会館	1月14日(木) 15:00
畑	畑自治会館	1月14日(木) 15:00	
中央ブロック	中央ブロック全域	中央営農センター	1月17日(日) 13:30
南ブロック			
支店	対象地区	開催場所	日時
和田川	坂田・田尻	和田川支店	1月18日(月) 13:30
	和田	和田公民館	1月19日(火) 13:30
名草	内原	内原自治会館	1月15日(金) 19:00
	紀三井寺	南部営農センター	1月18日(月) 13:30
宮前	中島	中島自治会館	1月 8日(金) 13:30
	新中島	新中島自治会館	1月13日(水) 19:00
	小雑賀	小雑賀自治会館	1月15日(金) 13:30
	南出島・手平出島	宮前支店	1月15日(金) 19:00
	杭ノ瀬	杭ノ瀬自治会館	1月20日(水) 19:00
	雑賀	雑賀地区全域	雑賀支店
東ブロック			
支店	対象地区	開催場所	日時
東部	井辺	井辺公民館	1月12日(火) 18:00
	境原	境原地区会館	1月13日(水) 13:30
	神前	神前公民館	1月13日(水) 18:00
	西	西公民館	1月14日(木) 18:00
	広原	広原公民館	1月14日(木) 18:00
	東山東全域	東部営農センター	1月15日(金) 13:30
	西山東全域	東部営農センター	1月15日(金) 19:00
	本渡東	本渡東自治会館	1月15日(金) 19:00
	永山	永山自治会館	1月18日(月) 18:00
	東ブロック	東ブロック全域	東部営農センター
東ブロック	東ブロック全域	東部営農センター	1月16日(土) 13:30
	東ブロック全域	東部営農センター	1月17日(日) 13:30
	東ブロック全域	東部営農センター	1月18日(月) 13:30
	東ブロック全域	東部営農センター	1月18日(月) 18:00

ウメ

風当たりの強い園地では防風対策を積極的にしましょう。

防風対策には、防風樹の植栽や防風ネットの設置が有効です。強風を防ぐ目的は、開花期のミツバチの受粉効率をあげるためです。風が強いとミツバチの活動範囲が狭まり、ウメの花に十分な受粉が行えません。

また、3月以降、風当たりの強い園地では、かような病の発生が多く、その発生を抑制することができます。さらに、新しく植えた小木の倒伏や、枝の先端が折れてしまうのを防止する効果も期待できます。

イチジク

今月は土づくりや寒害対策作業を行います。

樹勢が低下している園地では、完熟堆肥(200kg/10a)または、新ふりかけ堆肥eco(200kg/10a)を施用してください。

イチジクは中性に近いアルカリ性の土壌を好むので、苦土セルカフミン(120kg/10a)を施用し土壌改良に努めましょう。

カイガラムシ・ダニ類の発生が見られた園地では、石灰硫黄合剤10倍(発芽前)を散布してください(ネオエステリン500倍加用)。

寒害対策は、若木が中心の園地や寒害が懸念される園地で行いましょう。主枝にワラを巻きつけ、被害が特に心配される園地ではワラの上からビニール資材を巻きつけます。こうすることで耐寒性を高

カキ

樹勢を長く健全に維持するためには、整枝・剪定が欠かせません。

整枝・剪定は、収量、果実品質に直接影響し、その園地の栽培体系を決定する重要な作業です。「切り返し剪定」は樹勢を強め、「間引き剪定」は樹勢を落ち着かせる役目があります。休眠期の作業として、適切な整枝・剪定に努めましょう。

剪定の進め方

- ① 太い不要な枝を除きます。
- ② 垂主枝と側枝は、枝の先端から三角形を描くように切除します。
- ③ 上下が重なるような枝は、下を優先して残します。
- ④ 内向枝、交差枝は迷わず切除します。
- ⑤ 直上枝は更新するとき以外は切除します。
- ⑥ 競争相手となる枝は、切除します。
- ⑦ 更新以外は、側枝は間引き剪定とします。
- ⑧ 小枝は剪定しません。
- ⑨ 枯れ枝は切除します。

め、主枝上部の樹皮のめくれを防ぐことができます。

農薬使用の基本を守りましょう

農薬散布作業は適切に

- ◆ 農薬登録のある農薬を選び、使用目的にあった農薬を使う
- ◆ 使用量・希釈倍数は記載の範囲内で調整し、散布方法を守る
- ◆ 使用時期、収穫前日数、使用回数は必ず守る
- ◆ 農薬飛散防止のための基本的な施用法を実践する
- ◆ 散布が終わったら、散布器具、タンクなどを十分に洗う